

【実務者向け短期プログラム】

令和6年度第1回（令和6年5月開催）

制御システム向け
サイバースティックス
サイバーセキュリティ演習 (CyberSTIX) in 大阪

ご案内資料

令和6年3月

独立行政法人情報処理推進機構

産業サイバーセキュリティセンター



※ CyberSTIX: **Cyber Security** practIcal eXercise
for industrial control system

※ 本演習は、情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）の
実践講習としても参加できます。

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/riss/forriss/koushu/jissen.html>

「制御システムのセキュリティ」 備えは進んでいますか？

～ハンズオンで学ぶ産業制御システムのセキュリティ対策～

対象者

- 制御システムのサイバーセキュリティを担当している方、又は今後担当を予定されている方
 - ITパスポート試験合格者相当以上の知識を有していることを強く推奨します。
- ※本演習は、日本の社会インフラ・産業基盤を守ることを目的にプログラムを設計しています。
そのため、上記目的に係る業務に従事していること、日本国籍を有することをご参加の条件とし、
これらを満たさない場合、受講をお断りさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

日程／会場

- 日程：令和6年5月27日（月）午後 ～ 28日（火）終日（計1.5日間予定）
- 会場：大阪府大阪市北区大淀中1-1-88
梅田スカイビル タワーウエスト22階 A会議室
<https://www.skybldg.co.jp/access/>
https://www.skybldg.co.jp/floor/pdf/citymap_2017.pdf

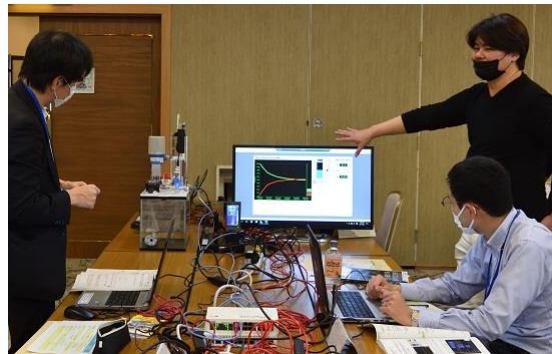
受講料／定員

- 受講料：【一般の方】17万6千円（税込） 【登録セキスペ（実践講習）】16万円（非課税）
※受講料には、交通費・食事代は含みません。
- 定員：最大20名
※募集定員に到達し次第、募集を締め切らせていただきます。最少催行人数は4名です。

演習の特徴とスケジュール

演習の特徴

- 産業用制御システム（ICS : Industrial Control System）の模擬システムを用いたサイバー攻撃と対応のハンズオン演習により、実践的な防御方法を習得できます。
- 産業用制御システムのセキュリティを、ITにおけるセキュリティとの差を認識しながら習得いただけます。



演習スケジュール（予定）

1日目 13:30～17:30 ※適時休憩あり

オープニング

【セッション1】産業用制御システム概要

【セッション2】ネットワーク探索とマッピング

【セッション3】脆弱性とMetasploitの利用

【セッション4】Windowsに対する攻撃

2日目 10:00～18:00 ※適時休憩あり

オープニング

【セッション5】Webアプリケーションに対する攻撃

【セッション6】ICSネットワークに対する攻撃

【セッション7】ICSにおけるセキュリティ対策

クロージング

満永 拓邦

東洋大学 情報連携学部 准教授

(独) 情報処理推進機構 専門委員



- 一般社団法人JPCERTコーディネーションセンターにおいて早期警戒グループマネジャー、技術アドバイザーを歴任し、脅威情報の収集、分析等に従事。
- 2015年から、東京大学情報学環の「セキュア情報化社会研究寄附講座」の中核メンバーとして、サイバー攻撃の実践演習環境（SiSOC TOKYOサイバーレンジ）を東京八重洲に立ち上げ、実地訓練による人材育成とともにハッキング防御技術やセキュリティ耐性の評価を実施。
- 2017年から、IPAの「中核人材育成プログラム」の講師（ITセキュリティ）を担当。OT（制御技術）とIT双方にわたる組織全体のサイバーセキュリティ対策の中核となる人材の育成を実施。2020年から現職。

岡田 怜士

東洋大学 情報連携学部 特任研究員

- IPA産業サイバーセキュリティセンター講師。
- 2019年からインド太平洋地域向け日米EU産業制御システムサイバー演習にファシリテータとして従事し、2022年度から本プログラムの講師。IT・OTのセキュリティ人材の育成に努める。

渡會 航生

東洋大学 情報連携学部 特任研究員

- 2022年から、IPA産業サイバーセキュリティセンター中核人材育成プログラムの講師（ITセキュリティ）を担当。
- 2024年度から本プログラムの講師。OTセキュリティ・BCPなどの研究教育に従事する。最近では、セキュリティと生成AIの連携について研究を推進している。

- ◆本演習は日本の社会インフラ・産業基盤を守ることを目的にプログラムを設計しており、取扱いに注意が必要な情報が含まれます。

そのため、「秘密保持規約」、「倫理規約」、「著作権および商用利用の禁止」を含む、秘密保持誓約書にご署名いただきます。
予めご了承ください。

- ◆その他詳細は、お申し込み後に別途ご連絡させていただきます。

募集期間とお申し込み方法



募集期間

令和6年度第1回制御システム向けサイバーセキュリティ演習（令和6年5月27日～28日開催）の募集期間は、**令和6年5月10日（金）**までといたします。

※募集定員に到達し次第、募集を締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

お申し込み方法

WEB上の受講申込書に必要事項をご記入いただき、メールにてPDFをご送付ください。

※お申し込みいただきましたら、担当者よりご連絡差し上げます。

◆ 一般の方（登録セキスペの方が実践講習として申し込まない場合も含む）はこちら

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/short-pgm/cyberstix/2024-1.html>

◆ 登録セキスペの方（実践講習）はこちら

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/short-pgm/cyberstix/riss-2024-1.html>

※原則として、納入後の受講料はキャンセルされる場合でも、返金はいたしかねますので予めご了承ください。

※受講料請求書は押印省略で発行いたします。押印希望の方は、お申し込み時にご連絡ください。

お問い合わせ先

- 電話 : 03-5978-7554 (直通)
※受付時間 : 平日 9:30-18:00
- メールアドレス : coe-promo-ap@ipa.go.jp
- 担当者 : 鈴木 / 八嶋 (お申し込みに関すること)
: 竹腰 / 吉田 (演習内容に関すること)

【個人情報の取り扱いについて】

弊機構は、本プログラムのお申し込みのためにご提供いただいた個人情報の適切な管理に努めております。当該個人情報は、本プログラムを提供するために必要な範囲（事務処理および講師への当日受講者リストの配布等）で利用させていただきます。

個人情報保護についての詳細は下記のページをご参照ください。

<https://www.ipa.go.jp/privacy/index.html>

IPA

